



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月5日
東

上場会社名 レンゴー株式会社

上場取引所

コード番号 3941

URL <https://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 川本 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (上席)

(氏名) 山崎 宏信

TEL 06-6223-2371

財務本部長

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	249,399	2.0	10,375	△14.4	10,483	△20.9	6,002	△57.1
2025年3月期第1四半期	244,515	9.3	12,118	△10.8	13,261	△7.8	13,998	45.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △3,299百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 26,226百万円(22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	24.22	—
2025年3月期第1四半期	56.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,236,085	493,719	37.0
2025年3月期	1,243,116	500,244	37.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 456,916百万円 2025年3月期 463,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	502,000	1.4	20,000	1.0	20,000	△8.6	12,000	△36.5	48.41
通期	1,005,000	1.2	40,000	6.9	40,000	2.1	24,000	△17.2	96.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規	3社(社名)	台湾特耐王木箱包装有限公司、プロンク・マルチサービスME社、プ、除外ロンク・パッケージング・ SHIPPING 社	3社(社名)	株式会社オアシスエクスプレス、トランスコー社(チェコ)、トライコー・パッケージング・システムズ・マネジメント社
----	--------	---	--------	---

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	271,056,029株	2025年3月期	271,056,029株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	23,173,233株	2025年3月期	23,241,683株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	247,866,824株	2025年3月期1Q	247,788,855株

(注) 当社は、取締役等に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、昨年度に実施した製品価格改定の影響により増収となりましたが、固定費や物流費の上昇等により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

この結果、売上高249,399百万円(前年同期比102.0%)、営業利益10,375百万円(同85.6%)、経常利益10,483百万円(同79.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,002百万円(同42.9%)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

[板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、製品価格改定が寄与し売上高は増収となりましたが、固定費や物流費の上昇等により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は130,730百万円(同101.3%)、営業利益は6,911百万円(同85.8%)となりました。

[軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、製品価格改定が寄与し増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は49,133百万円(同110.1%)、営業利益は2,694百万円(同265.4%)となりました。

[重包装関連事業]

重包装関連事業につきましては、製品価格改定が寄与し売上高は増収となりましたが、工業樹脂製品の低迷等により営業利益は前年並みとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は11,348百万円(同101.9%)、営業利益は480百万円(同99.8%)となりました。

[海外関連事業]

海外関連事業につきましては、欧州における自動車産業の景気悪化の影響により重量物段ボールの採算が悪化し、減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は48,808百万円(同95.5%)、営業損失は109百万円(前年同期は営業利益2,085百万円)となりました。

[その他の事業]

その他の事業につきましては、連結子会社の増加により増収となりましたが、運送事業における労務費の上昇等により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は9,379百万円(同108.2%)、営業利益は288百万円(同75.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金の減少や投資その他の資産の減少により1,236,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,031百万円減少しました。

負債は、主に未払法人税等の減少により742,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ507百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加はありましたが、為替レートの変動に伴う為替換算調整勘定の減少等により、493,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,525百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は37.0%となり、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では不確定要素が多いため、2025年5月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,563	72,110
受取手形及び売掛金	270,404	275,087
商品及び製品	56,066	58,059
仕掛品	7,341	7,707
原材料及び貯蔵品	41,266	40,877
その他	14,993	17,280
貸倒引当金	△1,154	△1,002
流動資産合計	469,481	470,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	376,177	375,614
減価償却累計額	△220,981	△221,454
建物及び構築物（純額）	155,196	154,159
機械装置及び運搬具	761,529	754,747
減価償却累計額	△611,368	△608,229
機械装置及び運搬具（純額）	150,161	146,518
土地	155,496	154,563
リース資産	41,232	42,342
減価償却累計額	△20,370	△22,301
リース資産（純額）	20,862	20,041
建設仮勘定	36,219	40,830
その他	33,966	33,799
減価償却累計額	△25,785	△25,814
その他（純額）	8,180	7,984
有形固定資産合計	526,116	524,098
無形固定資産		
のれん	26,751	25,465
その他	20,947	19,872
無形固定資産合計	47,698	45,337
投資その他の資産		
投資有価証券	156,961	155,981
長期貸付金	736	717
退職給付に係る資産	8,737	8,720
繰延税金資産	2,409	2,256
その他	31,886	29,753
貸倒引当金	△911	△899
投資その他の資産合計	199,819	196,529
固定資産合計	773,634	765,965
資産合計	1,243,116	1,236,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	155,252	158,479
短期借入金	157,722	160,765
1年内償還予定の社債	55	55
リース債務	6,191	6,461
未払費用	38,910	34,516
未払法人税等	8,972	3,078
役員賞与引当金	471	-
その他	43,903	41,626
流動負債合計	411,479	404,983
固定負債		
社債	95,000	95,100
長期借入金	174,717	179,018
リース債務	14,842	14,056
繰延税金負債	31,435	33,239
役員退職慰労引当金	860	811
役員株式給付引当金	997	1,062
退職給付に係る負債	10,661	11,201
その他	2,877	2,892
固定負債合計	331,392	337,381
負債合計	742,872	742,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	34,776	34,786
利益剰余金	300,680	302,939
自己株式	△12,457	△12,398
株主資本合計	354,065	356,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,210	42,527
繰延ヘッジ損益	-	△3
為替換算調整勘定	57,241	47,848
退職給付に係る調整累計額	10,451	10,148
その他の包括利益累計額合計	109,903	100,522
非支配株主持分	36,276	36,803
純資産合計	500,244	493,719
負債純資産合計	1,243,116	1,236,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	244,515	249,399
売上原価	197,340	202,266
売上総利益	47,175	47,132
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	8,063	8,093
給料及び手当	10,827	11,532
のれん償却額	910	905
その他	15,255	16,226
販売費及び一般管理費合計	35,057	36,757
営業利益	12,118	10,375
営業外収益		
受取利息	156	187
受取配当金	928	1,011
持分法による投資利益	692	113
その他	1,241	1,260
営業外収益合計	3,018	2,574
営業外費用		
支払利息	962	1,160
その他	912	1,305
営業外費用合計	1,875	2,466
経常利益	13,261	10,483
特別利益		
固定資産売却益	162	84
負ののれん発生益	5,448	-
その他	190	29
特別利益合計	5,801	114
特別損失		
固定資産除売却損	285	132
工場リニューアル費用	162	47
その他	600	35
特別損失合計	1,048	215
税金等調整前四半期純利益	18,014	10,382
法人税、住民税及び事業税	2,545	1,802
法人税等調整額	1,258	2,045
法人税等合計	3,803	3,847
四半期純利益	14,210	6,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	212	532
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,998	6,002

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	14,210	6,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,946	308
繰延ヘッジ損益	1	△3
為替換算調整勘定	7,038	△6,243
退職給付に係る調整額	△251	△310
持分法適用会社に対する持分相当額	2,280	△3,585
その他の包括利益合計	12,016	△9,833
四半期包括利益	26,226	△3,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,647	△3,378
非支配株主に係る四半期包括利益	579	79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外子会社等の収益および費用の換算方法の変更)

在外子会社等の収益および費用は、従来、当該在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間の期首から期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更は、昨今の為替変動が著しい経済情勢の中、当社グループの海外事業の拡大に伴い、在外子会社等の売上高および損益の重要性が今後さらに増加することが見込まれることから、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社等の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	129,009	44,613	11,135	51,088	235,847	8,667	—	244,515
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	577	161	1,035	1,462	3,237	8,403	△11,641	—
計	129,587	44,775	12,170	52,551	239,085	17,071	△11,641	244,515
セグメント利益	8,052	1,015	481	2,085	11,635	382	100	12,118

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額100百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、三井化学東セロ株式会社(新社名：アールエム東セロ株式会社)の株式を取得し、同社および同社の子会社を連結の範囲に含めたこと等により、当第1四半期連結会計期間における「軟包装関連事業」のセグメント資産が、前連結会計年度末に比べ、52,750百万円増加しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、当該セグメント資産の金額は暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

当第1四半期連結会計期間において、三井化学東セロ株式会社(新社名：アールエム東セロ株式会社)の株式を取得し、同社および同社の子会社を連結の範囲に含めたことにより、「軟包装関連事業」セグメントにおいて5,448百万円の負ののれん発生益を計上しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、負ののれん発生益の金額は暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	130,730	49,133	11,348	48,808	240,020	9,379	—	249,399
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	520	177	998	2,547	4,243	8,596	△12,840	—
計	131,250	49,310	12,347	51,355	244,263	17,975	△12,840	249,399
セグメント利益 又は損失(△)	6,911	2,694	480	△109	9,977	288	110	10,375

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益又は損失(△)の調整額110百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額および負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	13,290百万円	13,466百万円
のれんの償却額	910百万円	905百万円
負ののれんの償却額	4百万円	0百万円